徳地町報

①
昭和34年12月10日発行
第51号

発行所　徳地町役場
発行者　徳　地　町
編集者　河　村　績
印刷所　今澄印刷所

無事に年末年始を

今年も四年続きの豊作で、農家の皆さまもさぞかし、お喜びの事と存じます。

歳末も近ずき何かとお忙しいことと存じますが、一人残らず無事に新しい年を迎えられますよう役場や議会議員のみんなが念願しております。

冬休みと子供のくらし

お手伝いと研究を中心に

冬休みはたいせつな教育の機会

もうすぐ冬休みですが、あなたの家庭では「冬休み」の用意はできていますか。子どもたちの能力は、学校で習つたことを、実際に家庭で応用したり、使つたりすることによつてほんとうに役立つ知識となります。このことから考えますと、休みこそ、習つたことを実行するよい機会といえます。

そこで冬休み中の計画を立てる場合には、こうした観点から手伝いや、いろいろの研究ということを中心に立てさせなくてはなりません。

学習は重点的に

学習計画では、これまでのことを忘れないとか、まとめてみるという面と、二学期によくなかつた点を補うという立場で考え、たとえ時間は短かくても、初めの計画どおり進めることを忘れてはなりません。

家庭人、社会人として育てる

休みは、家庭や社会での生活をとおして、家庭人、社会人としての自覚をよびさますよい機会です

年末年始で行事も多いときですから行事についても話しあい、子どもたちがそれに協力することによつて、家庭や社会の人々と協力して働くという自覚と態度を育てることを忘れては、成果はあがりません。

研究は一つに集中して

三学期はじめになると、子どもたちの成績物が山と積まれることがありますが、これでは冬休みをかならずしも有効に生活したとはいえないと思います。

宿題や自分の悪かつた教科の学習のほかは、何か一つゆつくりと考えてする研究か、あるいはまとまつた作品を一つ作らせれば十分と考えられます。

子どもには健全な場を

冬休みの間に何かのはずみで悪の道へふみこむ子どももかなりあるようです。

そこで、地域社会で、子ども会などを育ててやり、話しあいで必要なきまりをきめたり、みんなで楽しく遊ぶ健全な場を作るように努力すれば、きつと子どもたちはそこから健全な人間としての基礎を作つてくれます。

夜遊び、こずかい銭に目を注ごう

一年中で一番夜の長い季節で夜遊びも多くなりがちですが、こうした悪いくせは一度つくとなかなかもとに返しにくいものです。

また年の市やお正月もあり、子どもにも相当のこずかいをもらう者があることでしょうが、あまり多く持たせることは、生活指導の上からもよくありません。

補導にはあたたかい愛情を

どの休みでも、ただ学校が休みだということでなく、休みには休みとしての教育的に大切な面がたいへん多いのです。

ですから、それぞれの子どもの平素の行動や考え方にたつて、正しい家庭人として、また社会人として、いつそう正しい心を育てあげ、人間としての美しさをみがきあげるよう、子どもを持つ親だけでなく、家族全員、また地域社会の人々が手をつないで、全員で導くことが大切なことです。

本家は近くて強大だ

派出所で不安はない

県下警察署の統廃合が、12月1日いよいよ実施されました。

本町でも八十年の歴史をほこる佐波署が防府警察署に併合せられ改めて「防府警察署徳地警部派出所」と看板をかえて発足しました

新しい派出所は、初代所長に山口県警部江崎大二氏が着任され所長以下十一名となりました。

署が廃止されて派出所に格下げとなり、私たちはいちまつのさみしさと不安を感じられる点が無いでもありません

しかし警察当局のお話を伺つてみますと、署としては廃止されても、これで治安上には絶対に今までより弱化されることはない。

むしろ派出所のすぐうしろには強大な機動力や科学力また人員を保有する本署がひかえており、かえつて治安維持と警察力からいえば強化された形であり、私たちは決して心配することはない……とのお話でした。

また日常いろいろの願、届なども今までどおり派出所でできることになつておりますので何の不便もないそうです。

佐波署は、明治12年、山口警察署徳地屯所として発足したのがその前身です。

同年秋、三田尻警察署堀分署と改められ、大正15年に堀警察署となり、昭和23年国警佐波地区署昭和29年佐波署となりました。

その間八十年もの間、私たちの町の守り神としてみんなから親しまれ感謝されたものでした。

駅伝競走　中学校一等の八坂中に優勝旗　青年一等は串青年団チームでした

道徳教育の実際を見て

生きた教材をとらえ導く

話しあいで理解へ

今年は全国のあちこちで、道徳教育の問題でいろいろの事件がおきました。

ある所では、警官隊が出動してそう方に負傷者を出すなどの惨事も数多くおき心ある人々はあまりの事態に心をくもらせたことと思います

そこで筆者は昭和三十三年度より、全校教員が打つて一丸となり、地域の実情と環境に応じた生きた道徳教育のあり方について、真剣に研究し、さる十一月十八日吉佐教育事務所管内の関係者の前で、この研究成果を発表して、相互に研修した柚木小学校の研究会の状況や道徳教育の実際のありさまを見学して、見たまま、感じたままの、学校教育としての道徳教育の一端を報告します。

（文責　編集者）

柚木小学校が道徳教育と取りくんだ主な理由は

学校教育の目的から考えて、新しい教育制度に対する反省と、教育課程の改訂から出発しています

そして昨年度は「道徳教育の考え方と指導計画」を重点的に研究していました。今年度は、指導計画を改め、資料の研究や環境の整備で、へき地性の克服を主眼とした実践活動を押し進めてきています。

では実際にどのような道徳教育の方法がとられているかその一部を簡単に紹介しますと

同校の佐々木先生が五年生を担任して

人の立場を考えよう

という主題で、広い心をもつてお互が人の立場を考えあう、協力の社会生活は、自我をおさえるときに生れるものだということを理解させ、いつも行動できる態度を養成するというねらいで進められていました。

指導の課程は

同校には「飯ガ岳」という名の投書箱が備えられており、その中に生徒たちの意見や希望事項、また問題点がたくさん入れられるそうです。

当日はこの中から、友だちとの対立をテーマにした作文を、録音テープで再現して、

1. 問題の起きた場合
2. その時のお互同志の立場
3. お互のいい分について十分考えさせる。

どうしてこうした争いになつたのであろうか。

自分だつたらどうするか。

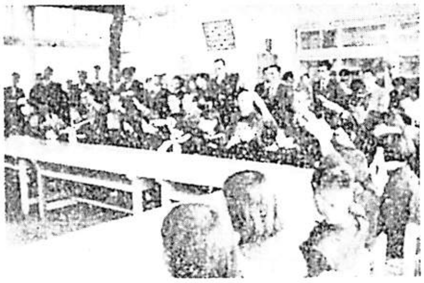
これから将来、争いのない協力生活を作るためには、どのような考え方、行い方をしたらよいかをテーマに、話しあいの方法で、日常生活への心のかてとして、教師と生徒とが、熱心に研究していました。

またその指導の要領も、生徒に対して、どういう点に問題があるのかをはつきりさせ、考えるすじみちを整理してやり、生徒とともに苦しみ、共に考え、共に感動しあう、師弟が常に同じ立場で、同じ目標に向つて進んでいるということを感ぜられました。

これは同校の道徳教育のごくわずかな一こまにすぎませんが、ここで、私は道徳教育といえば、賛否両論あれだけ新聞をにぎわし、しのぎをけずり、流血の惨事まで引きおこした当のご本ぞんだが、見ると聞くとは大きな相違があることを痛感しました。

柚木小学校といえば、佐波郡の最北端にある小学校で、山間積雪寒冷地帯のへき地小学校の一つですが、そうした学校で常に児童生徒と苦楽を共にしながら、教育と実践活動を通じて生きた道徳教育にたずさわつている人々の貴い姿を見るとき、何も反対する理由は筆者自身には見つからなかつたのでした。

賛成、反対それぞれ理由はあるわけですが、私たちは、いま少し深く掘り下げて考え、また研究してみる必要はないものでしょうか



堀中生の岩石標本

町で特選、県では三位に入る

堀中の科学クラブの中に地学班というのがあり、3年山本克也、2年田中邦臣、吉松洋昭、1年田坂靖夫、久楽 繁、岡本 斉の6人のグループがそれです。

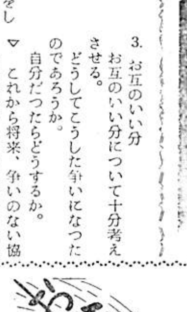
6少年は、卒業生の後をついで林、藤田、杉山の三先生の指導で徳地町の地質を調べる貴い資料になる岩石集めをしました。主に夏休みを利用して、延300キロをこえる山や河を調べ、集めた岩石1000点を50種類に整理しました これは町の科学振興展では見事特選になり県の展覧会に出品して堂々3位に入賞しました。

▽ **工業統計調査があります**

今年も十二月三十一日現在で工業統計調査が行われます。これは甲、乙、丙の三種類の調査表で行われますが、調査員の人が、お伺いして、該当する調査表に記入をお願いすることになつていますので、どうぞよろしく。

▽ **自分の木も勝手に切れない**

山の立木を切るには、たとえ自分の山の木を、自家用に切る場合でも、知事に届出るか、知事の許可を受けねばなりません。今年の四回目の許可申請は12月2日～31日までになつています 林業改良指導員か森林組合にご相談ください。



▽ **共同募金が**

十六万五千二百余円あつた。

今年の共同募金も、あなたのご協力で、ほとんど集まりましたが、目標額に足らなかつた一万二千円余りは、各地区社協の立替で、全部を完納しました。

この金は、いろいろの社会福祉事業に使われ、一人でも多くの人が、少しでも「しあわせ」になれるために役立つものです。

どうもありがとうございました

▽ **成人の記念論文を募集しています**

おとなになつたことを自覚し、自ら生きぬこうとする青年を祝い、励ますため……県教委と県選管では論文を募集しています 応募者は12月25日までに、町の教育委員会へ。

応募資格は明年の成人者です。

▽ **年末年始の火の用心**

これからは、火の使用も多くなり、一年中で火災も一番多い季節になります。

「焼いて泣くより焼かないくふう」ちよつとの不注意から取りかえしのつかないことになりますので、年末年始は特に火の用心と戸じまりには、家中で受持ちをきめるなどして、みんなでわが家を守りましよう。

みんなが計画を出し合う

家族会議のあり方

家族会議とひと口にいっても各家庭の実情によって、その開き方や内容は、ずいぶん違ったものになっているようです。

そこで、家族会議には、どんな条件を備えていなくてはならないかを、少し考えてみましょう。

どこまでも民主的な内容をもつように仕組まれること

たとえば、父親が常に中心になって、問題を出し、結論もきめるというような封建的な家庭の組織の中で行われる会議では、ならないということです。

少くとも、会議中だけは、家族の全部が出席して、だれでも自由に、何のこだわりもなく、しかも家庭を建設するという立場で、発言し、討議されなくてはなりません。

みんなの協力の場であり、一人でも気まずい思いをする人のないようにすること

会議に参加したら、だれでも大きい気持で、相手の発言を受け入れるという立場に立たねば、会議は成立するものではありません。

よく、話しあいさえすれば、自分はレクリエーションなどには参加しないという家族の方もありますが、これでは、それまでの話しあいの中に、何か物がはさまったような感じで、他の者も何となく家族会議そのものが、おもしろくないという感情的なものもでてきて、かえって害をおよぼすようなことも起りがちです。

全員の協力に立つた家族会議から家庭建設がなされます

家族会議には、いろいろの形はありましょうが、どんな形の家族会議でも、その底に流れているものは、常に「家族全員の協力」ということが、その基礎となったとき、はじめてその効果をあげることができます。

どんな内容で開くか

反省よりも計画に重点をおく

とかく話しあいというと、これまでの生活の反省が中心になりやすいものですが、反省が中心になると、とかく悪い点をことあげする結果になりやすいものです。

そこで、まずあすの計画とか一週間の計画といったものを先に出し、それをよりよく進めていくために、これまでのことを反省していくという順序で進めることがよいでしょう。

たとえば「あすは家の大掃除をするのだがどのようにしようか」というように、家族中に問題をなげかける形で出す方法です。

司会は交代で

最初のうちは、両親が中心になって、温い家族会議を意識的にも家族の中に育てることが大切でしょうが、ある程度までくれば、できるだけ交代で、進めることが民主的な運営のやり方でしょう。

課題意識を持たせ全員で解決を

家族会議は、近所のうわさ話や他人の非難であってはならないことはいうまでもありません。

たとえそうした問題ができたとしても、どうしてそんな問題が起ったかをみんなで考え、自分の家庭についても反省し、これからそうしたことの起らないようにするために意見を出しあって、よりよい生活設計を立てることが、真の家族会議といえましょう。

家庭経済の問題にしても、家計簿などから資料を整えて、みんなで「これからどのようにするか」というところまで討議しなくては明るい、楽しい、豊かな家庭を建設することはできますまい。

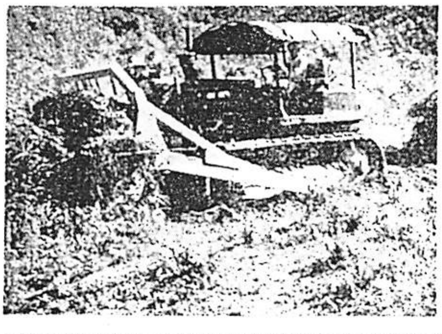
なごやかな気分で

家族会議は、その形はどうあろうと第二の問題で、結局は、問題のあるたびに夕食後のひとときにでも、日常生活の問題とか、そのほかいろいろの問題を「みんなで処理」する民主的な話しあいの場を作ることが先決問題です。

家族会議を一番きらっているのは父親だとよく聞きますが、これでは、これからの家庭をより豊かに、より文化的に、より教育的に導くことは、たいへん難しいことに考えられます。

山も畑になる

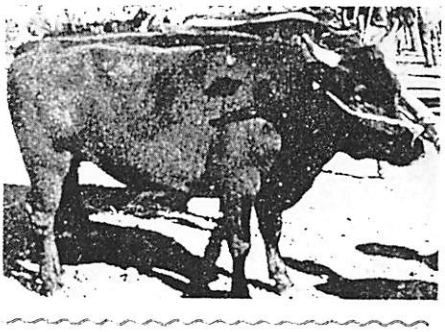
町内ただ一つの開拓地大土路部落の周辺10ヘクタール（10町）の山のふもと一帯が県のブルトーザーでみごとな畑に変りました



有畜農業の振興へ……共進会

11月28日佐波高校で、町畜産共進会が行われ80頭の出品牛で盛会だつた。1等入賞は種牛で八坂の永久教苑、肉牛で八坂の村田近一、育成牛で柚野の三浦繁一のみなさんでした。

（写真は八坂永久さんの種牛）



新しい民生委員

会長に宮本孝道氏

十二月一日、新しい民生委員がきまりました。

世の中をよくするための、民生委員の活動に、あなたも御協力をお願いいたします。

新しい民生委員

会　長　宮本孝道（伏野）
副会長　瀬川正太郎（島地）

出雲地区の委員
上田正介、田中滋、山本忠夫
宮本孝道、藤本卓二、山本富二
宮崎英子、疏田雅子、堀田就三郎
長松マツエ、田坂義雄

八坂地区の委員
末永ツヤ子、山本秋作、粟屋哲晴
松村幸生、田戸武夫、田中英昇
戸田岸丙稔、河村丙松、山本源一
村田寿雄、河村菊恵、原田貞子
三刀屋幾生、粟屋紫登

柚野地区の委員
原田栄、賀屋常雄、山本実雄
中村正二、伊藤哲義、白松春子
大西良嗣、飯尾幸男、弘中満一

串地区の委員
三賀本康孝、田中ヨネ、
坂本天柱、松田フジエ

島地々区の委員
小田彦治、渡辺哲夫、津室唯人
瀬川正太郎、松原ソノ、秋山利男
牛見泰明、松原豊之進、山田泰子
丸山タケヨ

解説

たすけあいは まず身寄りから

私たちの生活は夫婦と親子を中心に営まれています

この基本単位の家庭では、たとえ一きれのパンでも、分けあっていくのが、建前ですが、夫婦、親子以外の親族の間の扶養では、どのような義務があるか……歳末たすけあい運動を機会に、民法に定められているあらましを紹介しましょう。

直系血族ー祖父母、父母、子、孫などと、兄弟姉妹は、お互に扶養しなければならない義務があります。

このほか、特別の事情があるときは、家庭裁判所が、三親等内の親族たとえば「おじ、おば」と「おい、めい」や先妻の子と後妻嫁と「しゅうと、しゅうとめ」などの間にも扶養の義務を負わせることができます。

親族の間では

親族中に生活困窮者が一人あつて、扶養力のある人が幾人もあるとき、またその反対に扶養力のある人が一人しかいなくて、生活困窮者が幾人もあるとき、だれが扶養するか話しあいがつかなければ家庭裁判所がきめます。

扶養の程度も最終的には家庭裁判所がきめます。

生活保護制度

ところが世間では、自分の生活が手いっぱいで、他人のめんどうまで見られないという例と、反対にだれもめんどうをみてくれる人がないため生活に困っている人が多いのです。

こうした場合、国がその最低生活を保障するわけでこれが「生活保護」の制度です。

生活保護制度の中には
生活扶助、教育扶助、住宅扶助
医療扶助、出産扶助、生業扶助
葬祭扶助などがあつて、福祉事務所が取扱つています。

これらの保護は、親族による扶養が十分なされないときにはじめて行われる建前になっています。

「ゆりかごから墓場まで」一生を国の責任でみるような社会保障制度が確立されていない現在、親族の間で、お互いに何とか助けあうことがたいせつなことです。

お客は一日家族は一生

農家の住いの改善

住いは生活の器といわれていますが、最近町内でも、住いの改善が目立つて多くなりました。これは古くなつたから建てかえるというだけでなく、もつと積極的な目的で行なわれている場合が少くありません。

たとえば、畜舎の規模を大きくするとか、動力機械を買つたため、なやの規模や構造をかえるなどそのよい例といえましよう。

そこで農家のくらしにふさわしい新しい住いについて考えてみますと

家族中心の部屋

これまでの農家の住いは、客間本位に造られていました。これは当時の生活様式から必要だつた間取りですが、最近は民主的な家族関係をつくり、個人を尊重するという生活はその生活様式を根本的にぬりかえたわけです。

そこで家族のみんなで団らんできる〔安定した集まり部屋〕を持ちその上に、家族単位に独立した部屋をもてるように工夫することです。

子ども部屋も

また大人中心でなく、子どもにも自分で整とんし、日常の生活の中でよい習慣を身につけるために独立した子ども部屋を与えてやりたいものです。

記帳室の独立も

これからの農業生産は、めんみつな計画と、その記録が必要です。

そこで土間の片すみにでも、安定した記帳室を設けると便利です。

家族の健康生活のために

まず自然の環境を利用した家の向きを考え、軒の出やえん側など夏の日ざしをさけ、冬の日照を取入れるなど雨の多い日本の気候風土に適した自然の条件を生かすことです。

そのほか炊事場、風呂場、洗たく場、便所、畜舎などの改善などに際し衛生的な施設をくふうすることはハエやカの発生を防ぎ、仕事の能率もあげることができます。

これらのことを考えの中に入れてその地域の特性の上に、個々の家の立場条件を生かし、住む人の条件をみたしていく心がまえで、明るい家族関係を作りだし、生産に励むことのできる住いでありたいものです。

たばこは町内で買いましょう

昭和三十三年度の一年間に、およそ三千二百二十一万円余りの大金が、煙となって消えてしまった。

そういってもこれは火事ではありません。

一年間の町内たばこ小売業者の総売上高の話です。

これは町の人口一人当り一年間千七百六十円余りに当り、赤ちゃんまで入れて、年間約九〇〇本近い「しんせい」をのんでいるわけです。

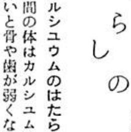
専売公社一年の売上は二千三百三十六億円という話です。

たばこの消費はアメリカが一人当り二千五百本で世界一、つぎがイギリス、スエーデン、フランスの順で、わが国は世界第五位の愛煙国となっているそうです。

ところで、たばこにはたばこ消費税という税金がついていますが、これはたばこの値だんの中にふくまれており、たばこ小売業者の方が、まとめてそれぞれの市町村へ納められます。

昨年中の町内でのたばこ消費税は、およそ三五〇万円余りでした。

くらしのしおり



カルシユウムのはたらき

人間の体はカルシュムのとり方が少いと骨や歯が弱くなり、病気にかかりやすい、ひよわな体になります。

カルシユウムは人体の一つ一つの細胞の中心になっている大切なものの一つです。

カルシユウムを多くふくむ食品は、牛乳、山羊乳や煮干などの骨ごと食べられる小魚、海そう、豆類、豆腐などですから、かかさず補給するようにしましょう。

病人には栄養食を

病気をなおすのは、本人の身体に備わる自然の治ゆ力です。

薬はその補助の役目にすぎないわけです。

そこで胃腸の特殊な病気（かいよう等）は別ですが、たいていの病気について「梅ぼしと白かゆ」といった食事は、病気の治ゆをおくらせるだけです。

なるべく滋養のある食事を、やわらかく、消化のいい形に調理して、ふだんよりごちそうを与えるようにしたいものです。

みかんの皮

みかんの皮はすてないで、かごに入れて干しておくと、いろいろ利用できます。

夏のかいぶし、炊きつけにまた風呂に入れると香と、はだざわりがよく、煮汁でタイルを洗うとずいぶんきれいになるものです。

スリやアキスにご用心

年の瀬は、スリやアキスねらいのかき入れどきです。

人前で財布を開かないよう、人ごみの中では、特に持ちものに気をつけましょう。

また、家はるすをあけないように気をつけ、やむを得ないときはよく戸じまりをし、錠をかけお隣の方によく頼んでおくなり、みんなで気をつけるようにしたいものです。

編集後記

徳地町報を二カ月ほど、発行できなくて、ごめいわくをかけましたことをおわびいたします。

これで今年の最後ですが、来年はこんなことのないよう、想を新にしてご期待にそうよう努めますご一家のご多幸を祈ります。